

オペラ会場でお茶を一服

昨日（1月13日）、茶道部は松江市総合文化センタープラバホールでお茶席を行いました。この時期に行うということは“初釜”になるのでしょうか？詳しいことはわからないまま、プラバホールを訪れました。

本校の文化部は、吹奏楽部や演劇部では定期演奏会や合同公演など自分たちの活動の様子を外部の人たちに披露する機会はあるのですが、茶道部や華道部、文芸部、書道部、美術部など地道に活動している部にとっては、本校で行う収穫祭や吹奏楽部の定期演奏会で作品を展示するくらいで、外部の人や他校の生徒の皆さんとの交流を持つ機会が少ないのは事実です。

今回プラバホールでお茶席ができたのも、昨年12月上旬より開催された“プラバ光の杜プロジェクト2018”を、松江工業高校の電子科・電気科を中心とした手作りのイルミネーションが彩り、室内では本校の環境土木科作成の「室内日本庭園」が設置され、「みんなで創る市民の杜」の取り組みに参加させていただいたことがきっかけです。年末には本校で生産された農産加工品の販売を行ったりしてきました。この流れで昨日は茶道部のお茶席ということです。

昨日は、プラバ・ニューイヤーオペラコンサートが実施されており大勢の人でしたが、茶道部員はそれぞれで役割を分担しながらお茶席を実施していました。慣れないことで緊張気味でしたが、お客さんは一服を楽しんで飲んでくれていました。プラバホールを訪れたお客さんをおもてなしする、一座建立のお茶席になったことでしょう。

